

2023年の 木材輸入実績について

2023年の我が国の木材輸入は、2022年後半から続く国内の住宅需要の停滞が影響し、大きく減少しました。

本稿では、世界の動向を概観した上で、2023年における我が国の品目別の輸入実績を紹介します。

1 世界の動向

世界の主要市場における木材価格は、過去3年間と比較し、新型コロナウイルスのパンデミック以前の水準近くまで下落しました。北米市場では、金利上昇の影響を受け、住宅需要が減速しましたが、年末にかけて住宅着工戸数が回復基調となりました。欧州市場では、金利上昇の影響等で建築需要が低迷、中国市場では、不動産不況等により景気が停滞しました。

2 我が国の木材輸入実績

(1) 国別の輸入額
2023年の木材輸入額（HS44類）は、前年より20%減少し、1兆3994億円となりました。国別では、ベトナムが前年

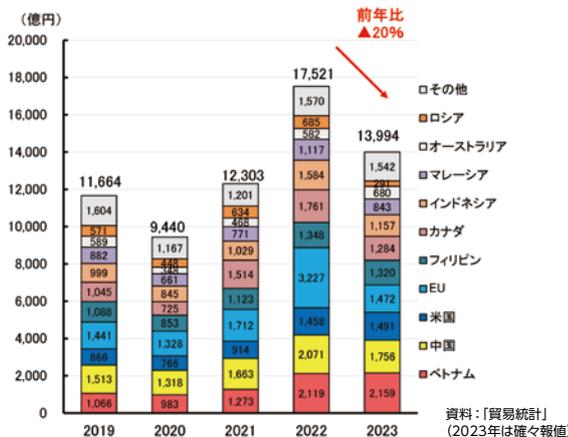


図1 木材輸入額の推移

比で2%増の2159億円で1位、中国が同15%減の1756億円で2位、米国が同2%増の1491億円で3位、次いで、EUが同54%減の1472億円となりました。EUは、製材・集成材などの輸入額が大幅に減少したことで、前年の1位から4位に後退しました。(図1)。

(2) 丸太

2023年の丸太輸入量は、前年比で19%減の202万m³となりました。国別では、米国(同29%)が、日本国内の需要停滞や8月末に米松丸太の製材大手が工場火災により操業を停止したことから、同23%減の115万m³となりました。また、カナダ(同29%)の丸太は、主に合板用で、日本国内の合板メーカーの減産により同17%減の58万m³となりました。さらに、NZ(同12%)が、産地価格の上昇と円安

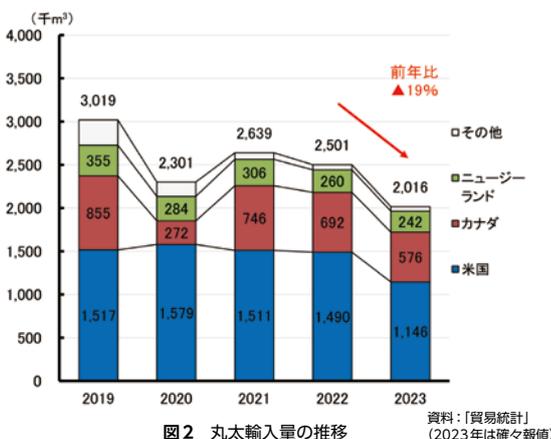


図2 丸太輸入量の推移

(3) 製材

2023年の製材輸入量は、2022年から続いていた過剰在庫の調整、住宅需要の減少、円安の影響、国産材への転換等により、前年比で32%減の333万m³となりました。国別では、EU(シニア…49%)が同36%減の164万m³、カナダ(同23%)が同19%減の76万m³、ロシア(同14%)が同40%減の47万m³となりました。(図3)。

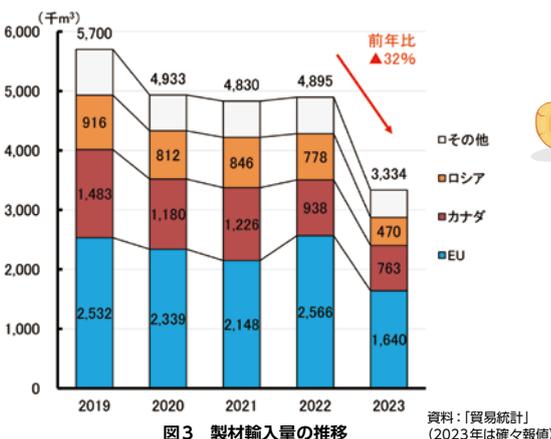


図3 製材輸入量の推移





※記述の出典等については、林野庁ウェブサイトに掲載した「2023年の木材輸入実績」をご確認下さい
 (URL : https://www.rinya.maff.go.jp/j/boutai/attach/pdf/mokuzai_yunyuu_genjou-31.pdf)

(4) 合板

2023年の合板輸入量は、前年比で28%減の140万m³となりました。国別では、インドネシア(シェア:39%)は同29%減の54万m³、マレーシア(同38%)は同29%減の53万m³となりました。いずれも、需要の停滞に加え、円安の影響等により輸入量が大幅に減少しました。また、ベトナム(同13%)は同4%減の18万m³、中国(同10%)は同42%減の14万m³となりました(図4)。

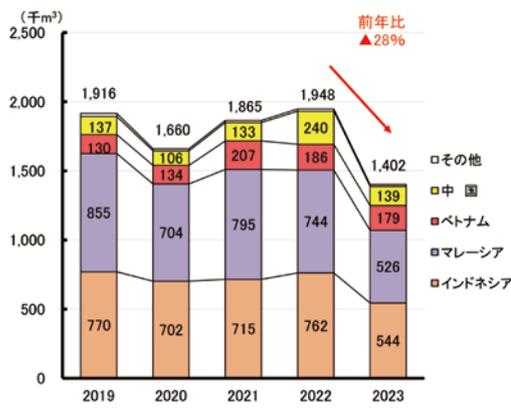


図4 合板輸入量の推移
 資料:「貿易統計」(2023年は確々報値)

(5) 集成材

2023年の集成材輸入量も、製材と同様に、2022年夏から続いていた過剰在庫の調整、住宅需要の減少、円安の影響、国産材への転換等により、前年比で37%減の65万m³となりました。国別では、EU(シェア:79%)は同39%減の50万m³、EU加盟国別では、フィンランドが同37%

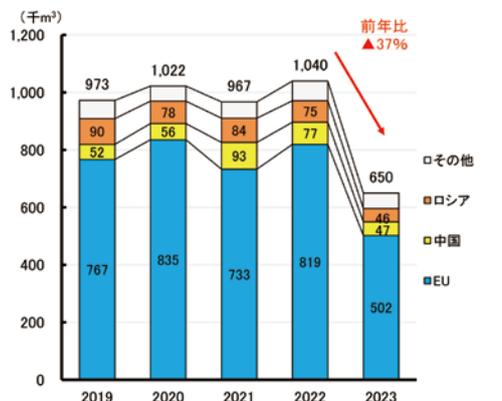


図5 集成材輸入量の推移
 資料:「貿易統計」(2023年は確々報値)

減の24万m³、ルーマニアが同47%減の8万m³、オーストリアが43%減の同7万m³となりました。また、中国(シェア:7%)は同39%減の5万m³、ロシア(同7%)は同38%減の5万m³となりました(図5)。

(6) 木質ペレット

製材、合板等が住宅需要の停滞等により、軒並み輸入量を減らした一方で、2023年の木質ペレット輸入量は、前年比で32%増の580万トンとなりました。国別では、ベトナム(シェア:45%)が同9%増の260万トン、カナダ(同27%)が同16%増の158万トンとなりました。また、米国は(同22%)は、同国メーカーと長期契約している木質ペレット発電所の稼働率が上がってきたことなどから、同317%と大幅に増加し、126万トンとなりました(図6)。

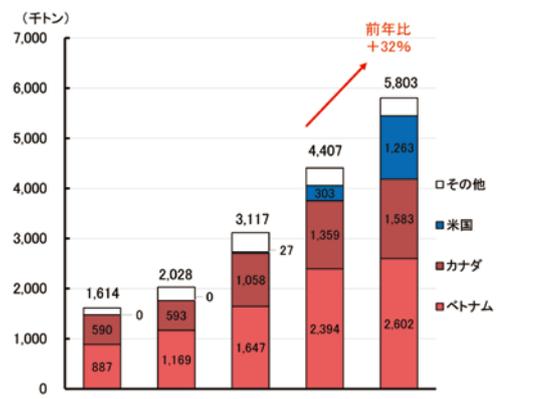


図6 木質ペレット輸入量の推移
 資料:「貿易統計」(2023年は確々報値)

3 おわりに

2023年の木材輸入量を品目別に見ると、主に住宅など建築向けの丸太、製材、合板及び集成材が減少した一方で、木質バイオマス燃料用の木質ペレットの輸入が増加しました。

林野庁では、引き続き、木材の輸入動向に関する情報を積極的に提供してまいります。

